

流放稚魚ダイマキ招き児童小名向

# 大きくなって 帰っておいで

NPO小パール隊

NPO法人小網代パール  
海育隊(出口浩代表)は、こ  
のほど名向小学校4年生を

招待し、マダイの稚魚約1  
500を小網代湾内に放流  
した。また、同法人会員も  
約3400匹の稚魚を放流  
した。児童たちはバケツか  
ら放たれる稚魚に「早く大  
きくなって帰っておいで」

などと声をかけて送り出し  
た。

放流された稚魚は体長約  
6センチ、神奈川県栽培漁業  
協会が育てたもの。マダイ  
の放流は同法人が掲げる重  
要事業の一つで、同法人で  
は「マダイに限らず、魚の  
漁獲量は年々減ってきてい  
る。理由は様々だが、魚を  
獲る漁師さんも困り、みん  
なも魚を食べる回数が減っ  
てしまう。ひとの手でお手  
伝いすることで、漁獲量を  
増やしていくことが必要」  
としている。

小網代パール隊は通称、  
「小パール隊」と呼ばれ、  
小網代の海に活動拠点を置  
いている。小網代の海を舞  
台に地域と一緒に環境を学  
びながら守っていくことを  
目標としている。真珠の養

殖、稚魚放流、アマモの再  
生を通してみんなが海を知っ  
たり、楽しんだりする機会  
を提供している。



「大きくなってね」と声を掛ける名向小学校の児童たち